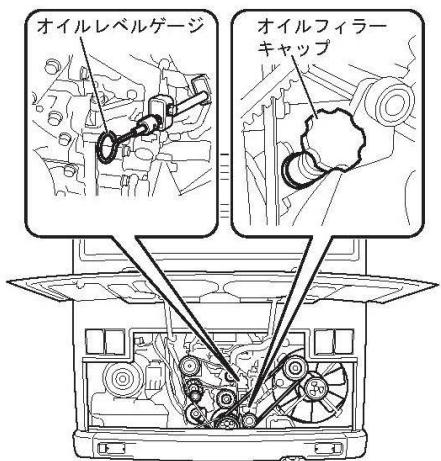


いすゞ バス ERGA 取扱説明書（点検整備の部分）

■エンジンオイル



△ 注意

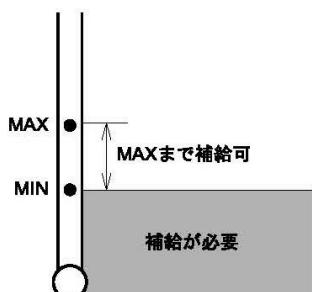
- ・オイルレベルゲージの「MAX」位置以上にエンジンオイルを入れないでください。エンジン故障の原因になります。

知識

- ・点検は平坦な場所で、エンジンの始動前に行ってください。
- ・エンジン運転中では正確なオイル量は計れません。
- ・エンジン運転後にオイル量を計るときは、エンジン停止後、20～30分たってから行ってください。
- ・エンジンオイルの補給・交換要領は12-17～19ページを参照してください。

エンジンルーム（車両後部）点検扉を開けてエンジンオイルのレベルをオイルレベルゲージで点検します。エンジンルーム（車両後部）点検扉の開閉については、3-56ページを参照してください。

1. オイルレベルゲージを左に回してゆるめて外し、付着しているオイルをふき取ります。
2. 再び一杯に差し込んで静かに抜き取ります。
オイルが「MAX」と「MIN」間にあれば良好です。オイルが不足していれば補給します。
3. 点検後はオイルレベルゲージを確実に差し込み、右に回してロックします。



アドバイス

- ・エンジンオイルにはいすゞ純正低アッシュオイル (DPD 対応オイル) ベスコクリーンスーパー (10W-40)、ベスコクリーン (10W-30) をお奨めします。
- ・オイルレベルゲージは曲げないよう、注意して差し込んでください。オイルレベルゲージが変形または破損するおそれがあります。
- ・オイルレベルゲージは、ロックする位置まで確実に回してください。オイルレベルゲージがロックされていないとすき間ができる、エンジン内に水が浸入して故障するおそれがあります。